

不審電話に関する事例 (1)千葉県

①令和7年12月2日、千葉県東金市在住の被保険者より電話あり。コバヤシと名乗る男性職員より電話があった。8月頃に水色の封筒を送付したが返送がないので電話した、この電話で個人情報を教えてほしいとのこと。被保険者は個人情報を教えず、直接市役所へ出向くと話すと2階の国保年金課まで来るよう案内され電話が切れた。

東金市後期高齢者医療担当はこのような電話をしていないことを伝えた。

②令和7年12月2日、千葉県長南町在住の被保険者宛てに「保険証に関するお問い合わせ」と称した電話があった。相手が所属等を名乗らないため、不審に思い電話を切った。

町では被保険者に、保険証に関する問い合わせで役場職員から電話したことはないとお伝えし、相手が所属等を名乗らないのであれば不審電話なので今後は同様の電話があっても対応しなくてよいということを伝えた。

③令和8年2月6日、千葉県四街道市の被保険者宛てに、「国民健康課のヤノ」と名乗る者から「令和8年4月1日から使える保険証を送った

が届いたか」と電話が入った。

市では国民健康課という課はなく、後期高齢者医療保険を扱う課内にヤノという者はいない旨を伝えた。

④令和8年2月27日、千葉県四街道市（15：00ごろ～17：19にかけて被保険者が電話対応）

【1人目：厚生労働省保健課センドウと名乗る者より入電。】

神戸市で保険証が不正利用されていると話され、被害届を出すかと聞かれる。被保険者が被害届を出したい旨伝え、警察に電話を代わると言われ別の者に取り次がれた。

【2人目：兵庫県警2課マツイユウジと名乗る者に代わる。】

神戸市立医療センターで2月4日、5日、6日に保険証が不正利用されており、被保険者の口座が不正利用されている旨伝えられる。

三菱UFJ銀行の被保険者名義の口座に入金があり、事件の被疑者として被保険者の名前が挙がっている。(文書番号：57643016と言われた。)

事件の概要としては、シラカワカズキという詐欺の主犯が逮捕され口座に不正な入金が128件確認され、その中で三菱UFJ銀行の被保険者名義の口座に入金があり、事情聴取するので検事に代わると言われ別の者に取り次がれた。

【3人目：検事（名前は忘れたとのこと）と名乗る者に代わる。】

口座情報を被保険者より回答。本人の千葉銀行と京葉銀行の口座番号と残高を伝えてしまった。

【四街道市の対応】

被保険者番号は変更できない旨、ご理解いただき、保険証情報だけでは不正利用される懸念はないことを説明。マイナ保険証利用登録していることが不安とのことだったため、解除申請を収受した。

不審な電話等があった場合、広域連合、市町村後期高齢者医療担当または最寄りの警察へ御相談ください。

問い合わせ先：宮崎県後期高齢者医療広域連合

0985-62-0921（業務課）